

天孫降臨の地を巡る旅



SPIRITUAL
HIMUKA

御朱印 めぐり 宮崎県北

高千穂

延岡

日向



スピリチュアルひむかエリアの

❖ 御朱印めぐり制作にあたって ❖

現代では、御朱印をスタンプラリーのような感覚で収集する人も多くなりましたが、本来の目的を理解して、神社やお寺を神聖な心で参拝してもらうとともに、宮崎県北部地域に残る神話や伝説に触れ、それによつた魅力的なスポットにも足を運んでいただければと思い、パンフレットを制作しました。できれば、何度も何度も巡っていただき、「スピリチュアルひむかエリア」という大きな御朱印帳に、みなさんの「足跡」という名の印をたくさん残してもらえればと思います。

❖ 御朱印とは ❖

寺社仏閣参拝の証としてその寺社名や印を頂くものです。朱印の形はさまざまですが、元々は仏教において写経を納めた際の「納経帳」でした。いわば御神体や御本尊の分身という意味合いも含まれているため、参拝記念はもとより、その価値を十分理解することが重要です。

近年では観音三十三札所や四国八十八ヶ所を巡礼し、お参りする度に「御判」を頂くことから御朱印を集める参拝者が増えています。



資料提供: 今山大師 野中玄雄 住職

四国八十八ヶ所巡りの納経帳(御朱印帳)
「重ね印」で一面が真っ赤になり、朱肉で次第に重さが増してくる。

❖ 御朱印を頂く時の手順 ❖

1 御朱印帳を準備する

御朱印帳は高千穂神社や天岩戸神社をはじめとする神社、また、大きな文具店などで購入できます。



2 訪れた寺社仏閣を 心をこめて参拝する

御朱印は、寺社仏閣参拝の証。
まずはしっかりお参りをしましょう。



3 神職・住職に御朱印を 頂けるか尋ねる

お参り、法要等で頂くことが出来ない場合もあるので無理にお願いしないこと。また、頂いている間は失礼のないように心静かに待ちましょう。



4 御朱印料を納める

御朱印料が必要な寺社では、お釣りがないように心がけ納めましょう。



5 御朱印を頂いたら お礼を述べる

御朱印帳は大切なものです。帰ったら神棚や仏壇に大事に納めておきます。そういった場所が自宅にない場合は粗末にならないように保管しましょう。

誕生 出逢い 旅立ち

高千穂に天孫「ニニギノミコト」が降り立ち、延岡でコノハナサクヤヒメと出逢い、そして笠沙岬(かささのみさき)で結婚し、海幸彦・山幸彦が誕生しました。その後、子孫である神武天皇が日向の美々津より東征へ出発(お舟出)したという神話が残されています。



天孫降臨の地 高千穂



アマテラスオオミカミの孫であるニニギノミコトが地上を治めるために降臨。



熊本県との境に位置する高千穂町は、古事記では天孫ニニギノミコトが高天原(たかまがはら)から舞い降りた「天孫降臨の地」と伝えられ、町のいたるところに神話や伝説の舞台となった場所があります。まさに現在の日本はこの場所から始まったといえるのではないのでしょうか。

出逢いの聖地 延岡



天孫ニニギノミコトは山の神の娘であるコノハナサクヤヒメに一目惚れして結婚。



延岡の街の中心部にある標高251mの愛宕山は、古くは「笠沙岬(かささのみさき)」と呼ばれていました。海に囲まれた岬であったその昔、天孫ニニギノミコトとコノハナサクヤヒメがこの場所で出会い結ばれたという、まさに「出逢いの聖地」なのです。

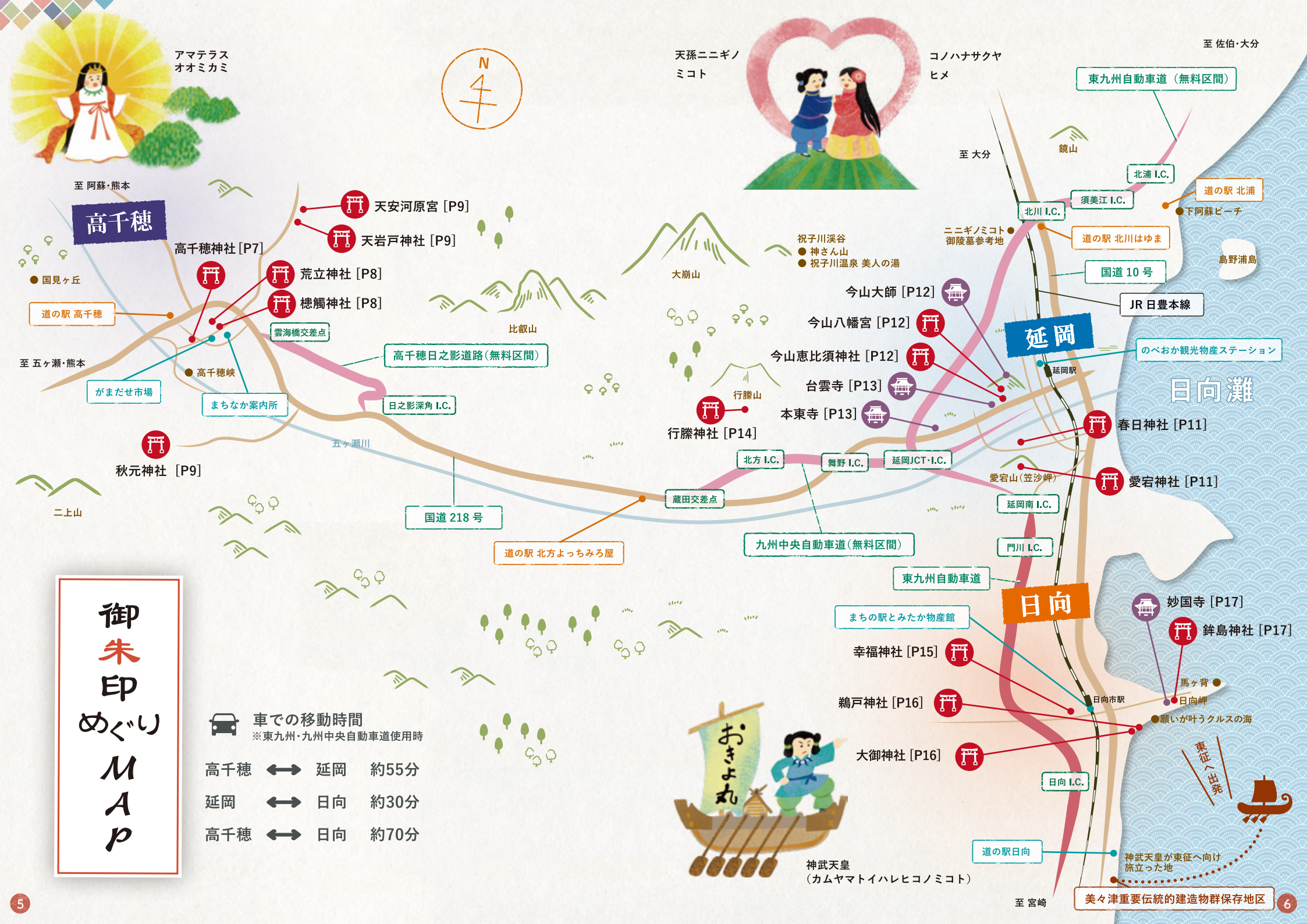
神武天皇お舟出の地 日向



天孫ニニギノミコトの子孫である神武天皇は政を平安に治めるため東へ出発。



後の神武天皇であるカムヤマトイハレヒコノミコトは「どうもこの土地は国を治めるにはあまりにも西により過ぎている。東方にはもっと良い土地があるというから東に向けて舟出しよう。」と決心し美々津より旅立ちました。



アマテラス
オオミカミ

天孫ニギノ
ミコト

コノハナサクヤ
ヒメ

至 佐伯・大分

至 阿蘇・熊本

高千穂

高千穂神社 [P7]

天安河原宮 [P9]

天岩戸神社 [P9]

荒立神社 [P8]

穂触神社 [P8]

雲海橋交差点

高千穂日之影道路 (無料区間)

日之影深角 I.C.

まちなか案内所

高千穂峡

がまだせ市場

秋元神社 [P9]

至 五ヶ瀬・熊本

比叡山

大崩山

祝子川溪谷
● 神さん山
● 祝子川温泉 美人の湯

至 大分

鏡山

東九州自動車道 (無料区間)

北浦 I.C.

須美江 I.C.

道の駅 北浦

道の駅 北川はゆま

国道 10 号

JR 日豊本線

のべおか観光物産ステーション

延岡

延岡駅

日向灘

春日神社 [P11]

愛宕神社 [P11]

愛宕山 (笠沙岬)

延岡南 I.C.

門川 I.C.

日向

妙国寺 [P17]

鉾島神社 [P17]

馬ヶ背

日向岬

願いが叶うクルスの海

東征へ出発

日向 I.C.

道の駅日向

美々津重要伝統的建造物群保存地区

至 宮崎

今山大師 [P12]

今山八幡宮 [P12]

今山恵比須神社 [P12]

台雲寺 [P13]

本東寺 [P13]

行藤神社 [P14]

北方 I.C.

舞野 I.C.

延岡 JCT・I.C.

蔵田交差点

九州中央自動車道 (無料区間)

東九州自動車道

まちの駅とみたか物産館

幸福神社 [P15]

鶴戸神社 [P16]

大御神社 [P16]

神武天皇
(カムヤマトイハレヒコノミコト)



車での移動時間
※東九州・九州中央自動車道使用時

高千穂 ↔ 延岡 約55分

延岡 ↔ 日向 約30分

高千穂 ↔ 日向 約70分

御朱印
めぐり
MAP



国の重要無形民俗文化財
「高千穂の夜神楽」を体感



拝観料 1人 1,000円
※小学生まで無料

夜神楽のお問合せ

■ 一般社団法人
高千穂町観光協会
☎0982-73-1213

神話や伝説とともに、五穀豊穡を願う村祭りとして受け継がれてきたものが神楽です。天岩戸開きなど33の演目があり、里神楽は11月から2月の間に各集落で奉納されます。さらに夜神楽の代表的な4演目をピックアップしたダイジェスト版ともいえる「高千穂神楽」は、毎日、午後8時から高千穂神社の神楽殿にて奉納されています。



穂觸神社

境内には土俵があり相撲
発祥の場所ともいわ
れています。御朱
印は高千穂神
社にて頂くこ
ができます。



天孫降臨の地として伝えら
れる穂觸の峯に鎮座する神
社。古事記の一文に「筑紫日
向高千穂之久土布流多氣に
天り坐しき」と書かれており、
古くは「穂觸の峯」を御神体と
してお祀りしていたが、1694
年に社殿を建立しました。



▲天へと続くような階段が
続く参道。



☎ 0982-72-2413 (高千穂神社)
高千穂町大字三田井713

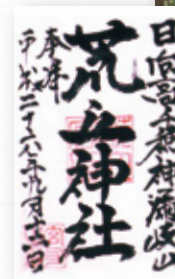
「武神」として
多くの信仰を
集める



約1900年前の垂仁(すいにん)
天皇時代に創建。高千穂郷八十八社
の総社で、神社本殿と所蔵品の鉄造狛犬
一対、木造神像は国の重要文化財に指定
されています。主祭神は高千穂皇神と十社
大明神で、特に農産業・厄祓・縁結びの神と
して広く信仰を集めています。

御
朱
印
めぐり
高千穂

瓊々杵尊(ニニギノミコト)が天照大御神(ア
マテラスオオミカミ)の命を受けてこの国に降臨さ
れる途中で天孫一行の道案内をされた猿田彦命(サ
ルタヒコノミコト)と天鈿女命(アメノウ
ズメノミコト)が結婚して暮らした地と伝え
られています。切り出したばかりの荒木を利用
して急いで宮居を造ったため、荒立宮と名
付けられたといわれています。



荒立神社

お
忍
び
で
訪
れ
る
有
名
人
も
数
多
い



▲干支板木(えとばんぎ)
7回叩くと願いが叶うと言われて
おり、それぞれの干支をかたどった
「干支板木」が設置されました。他にも
七福徳寿板木、未来板木、六根清浄
板木(ろっこんそうじょうばんぎ)など
があります。



▲御朱印は宮司が社務所に居る場合のみ可能。
不在時は御朱印札をもらうことができます。



高千穂郷
八十八社の総社

▲高千穂神社の御朱印帳 1,300円(御朱印料含む)。
表面は高千穂神社、裏面は高千穂の観光名所がデザインされています。



☎ 0982-72-2413 高千穂町大字三田井1037



☎ 0982-72-2368 高千穂町大字三田井667

❖ 天岩戸神社 ❖

天岩戸伝説
縁の神社

川の対岸にある天岩戸を御神体とするため、拝殿のみの造りとなっています。9:00~16:40までの間、決まった時間に御神体を直接拝観できる「選擇所(ようはいじょ)」に案内してもらえます。岩戸川をはさんで西本宮と東本宮が鎮座し、両社とも天照大御神(アマテラスオオミカミ)が御祭神として祀られています。



▲天岩戸神社の社務所にて天安河原宮の御朱印も頂けます。



❖ 天安河原宮 ❖

天岩戸神社西本宮から徒歩で約10分、天照大御神(アマテラスオオミカミ)が岩戸にお隠れになった際、八百万(やおよろず)の神がこの河原に集まり神議されたと伝えられる大洞窟。別名「仰慕ヶ窟(ぎょうぼがいわや)」とも呼ばれています。以前は社のみがあり信仰の対象となっていました。祈願を行う人たちの手によって石が積まれていくようになり、神秘的な風景が広がっています。



八百万の
神々が
集う場所



☎ 0982-74-8239 📍 高千穂町大字岩戸1073-1

御朱印めぐり
高千穂

Pick up! Spot



高千穂峽

その昔、阿蘇火山活動の時に噴出した火砕流が、五ヶ瀬川に沿って帯状に流れ出し、急激に冷却されたためにできた、すばらしい柱状節理(ちゅうじょうせつり)の懸崖となった峡谷で、国の名勝・天然記念物に指定されています。



高千穂町観光協会
マスコットキャラクター
「うずめちゃん」

高千穂観光のお問合せ

■ 一般社団法人 高千穂町観光協会
☎ 0982-73-1213

標高513mで、雲海の名所として有名な国見ヶ丘は、阿蘇五岳や祖母連山などの、大パノラマが楽しめる絶景スポットです。雲海の見頃は秋の早朝で、さらに快晴無風の冷え込んだ日に見ることができ、高千穂盆地や、とりまく山々を霧が覆い隠し、まるで墨絵のような世界が広がります。



国見ヶ丘

❖ 秋元神社 ❖

鬼門を向く
国家鎮護の神



▲拝殿横には御神水が祀られています。



▲拝殿にある御朱印を拝受できます。



📍 高千穂町大字向山字小藪6781



建磐龍命(タテイワタツノミコト)が諸塚大白山中腹に創建し、1683年現在地に創立したと伝えられます。1873年に「秋元太子大明神」を「秋元神社」と改称。拝殿が鬼門(北東)を向いていることから大きなパワーが宿ると言われています。

オススメ
Pick up!

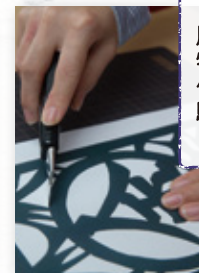
古代の人々が神秘的力が宿る石として、お守りや魔除けとして大切に身に付けていた勾玉や、神楽の神域を囲む彫り物(えりもの)を作る体験ができます。

体験メニューのお問合せ

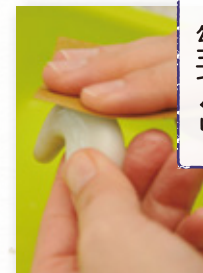
■ 一般社団法人 高千穂町観光協会
まちなか案内所
☎ 0982-72-3031



彫りもの
体験



まちなか
勾玉づくり





延岡市の中心部にある標高251mの山で、元は笠江岬や笠沙岬(かささのみさき)と呼ばれており、天孫ニギノミコトとコノハナサクヤヒメが出逢い結婚したという神話より「出逢いの聖地」として親しまれています。その神話にちなんだ錠かけモニュメントが設置されるなど、恋愛成就を祈願する人が多く訪れます。頂上付近にある展望台からは市街地を360°一望することができ、「日本夜景遺産」と「日本百名山」に認定されています。

▲月の明かりで海面に光の道が浮かび上がり、とても幻想的な景色が広がります。



❖ 春日神社 ❖

718年に大納言惟資(これすけ)が神殿を建立し「春日大明神」と尊び名付け、その後の延岡歴代藩主より多くの寄進をうけました。1871年に「恒富神社」と改称されましたが、氏子の強い要望により1968年に「春日神社」と復元し、「春日さん」と親しまれています。また神様の縁結びの地にあやかった「縁むすび絵馬」が購入できます。(写真下)

▲社殿の両側には樹齢900年にも及ぶ「みやざきの巨樹百選」に選定された御神木があります。

❖ 愛宕神社 ❖



愛宕神社
奉拜
平成二十八年一月五日

江戸時代に当時の領主・高橋元種によって愛宕神社が移され、「笠沙岬(かささのみさき)」の名称が「愛宕山」と改められました。御朱印は春日神社で頂くことができます。

出逢いの聖地
縁の神社



❖ 蓬萊山 今山大師 ❖



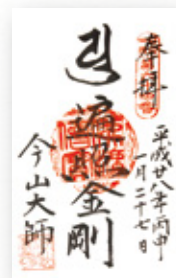
日本一の弘法大師像(高さ17m)が頂上に立つ今山大師は、1839年に延岡で疫病が流行り、それを封じるために高野山金剛峯寺から弘法大師像を勧請して大師庵を建立したことに由来します。現在の大師像は1957年に世界平和・万民豊楽を祈念して市民が一丸となって建立したものです。

高さ日本一の
弘法大師像

日本一の弘法大師像▶
銅像の足元からは延岡市街を一望することができます。



参拝者が身体健康を祈りお足を撫でるため、指先が磨かれ輝いています。



❖ 今山八幡宮 ❖



奉拜
今山八幡宮
平成二十八年一月五日

今山は、717年に延岡地方における最古の寺院が創建されたところといわれています。750年に豊前国宇佐八幡宮を勧請したもので、当時国司や軍司の崇敬も深く、社領が増えた758年に最も興隆を極め、「今最も栄える山」という意味で、社号を「今山」と改め今山八幡宮と号したといわれています。延岡藩歴代藩主も崇敬し、中でも内藤家においては領内守護の神社とされました。

藩主内藤家
領内守護神社



▲一段一本の御影石で作られた他に例をみない石段。

❖ 今山恵比須神社 ❖



今山八幡宮の末社で九州三大恵比須神社(博多、若松)の一つ。また、「日向之國七福神霊場」の一つでもあります。毎年2月10～11日の「十日えびす」には、商売繁盛、航海安全を祈願する参拝客で賑わいます。(写真左)





◀ 1927年7月に、歌人・若山牧水が伯父である当時の第二十九世・長田観禅住職を尋ねて、妻・喜志子と台雲寺を訪れ、滞在中に庫裡(くり=住職やその家族が居住する場所)の2階にて「なつかしき 城山の鐘鳴りいでぬをさなかりし日 聞きしごとくに」の詠草を残したとして知られ、1985年10月21日に若山牧水生誕百年祭を記念して歌碑が建立されました。



☎ 0982-32-2251 📍 延岡市北小路3739



▲お釈迦様が入滅した際に残したという足形を石に刻んだ「佛足石」。宮崎県内では唯一。

❖ 萬歳山 台雲寺 ❖

若山牧水ゆかりの禅寺

1614年に勧請開山された400年の歴史をもつ曹洞宗の寺院。若山牧水が当時の住職である伯父を訪ねて歌を読み残したことで知られています。境内には延岡藩最後の藩主・内藤政孝公や岩熊井堰を完成させた江尻喜多右衛門、空の先駆者である後藤勇吉の墓所があり、延岡の歴史が息づいています。

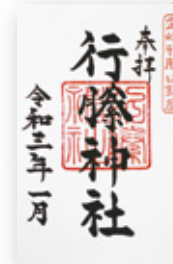


▲開創400年記念法要の様子



▲奇妙な顔形の狛犬

▼宮司不在時も用意されている御朱印を拝受できます。



行藤山の麓に鎮座する行藤神社には、社殿の前に鎮座した奇妙な顔形の狛犬(写真右)や、県有形文化財の「鉄鰐口(てつわにぐち)」など、特徴的なシンボルが多く存在しています。



▶ 樹齢300年の夫婦杉

オススメ Pick up!

御延岡
朱印めぐり

オリジナル御朱印帳 手作り体験

寺社巡りにかせない、今人気の御朱印帳。好きな素材や和紙を使ってオリジナル御朱印帳をつくってみませんか？



お問合せ noichigo(のいちご) ☎(FAX兼用)0982-35-5815
場所: 延岡市安賀多町4-1-4
料金: 2,000円 所要時間: 約60分 定員: 1~4名
営業時間: 10:30~18:00 定休: 水曜(日曜も休みの場合あり)
※事前にお申し込み下さい。

NOBEOKAひのきマグネット

延岡の郷土色豊かな風景と神話キャラクターなどの愛らしいイラストを彫刻で施した延岡産ひのきのマグネット。



お問合せ: (有)イェムラ ☎ 0982-37-5950
場所: 延岡市石田町4100-1 木工団地内
URL: <http://www.iemura.com/>
販売場所: 延岡市ふるさと納税・みやざき物産館KONNE
KONNEwebサイト・延岡市駅前複合施設エンクロス 他



❖ 慧日山 本東寺 ❖

七福神
大黒尊天霊場

1335年に日向の地に日蓮宗第5代の法脈をたてた日叡上人によって開山。境内には徳川家康のひ孫「日向御前」をはじめ、延岡有馬2代藩主・有馬康純公夫妻の墓所などの遺跡があります。境内には樹齢230年を超える「みやざきの巨樹百選」に選定されたしだれ梅をはじめ、紅白梅50本があり、毎年2月10・11日の観梅会では、市内外から梅を愛でる多くの人達でにぎわいます。



▲観梅会の様子



◀ 日向之國 七福神大黒尊天霊場 本堂の本尊様に向かい、左手に大黒天が安置されています。大黒天は五穀豊穡・子孫繁育・出世開運・商売繁盛の神様といわれ、豊かさを祈願する人々が訪れます。毎年1月2日に各家庭にある大黒天を持参し、祈禱する「大黒天大祭」が行われています。



▲大きな大黒天像



☎ 0982-32-3827 📍 延岡市松山町1133



かみ
神さん山
やま

Pick up! Spot

◀ 高さ24mと15mの巨岩が支え合って岩屋を形成し、その隙間に約2mの真三角の岩が鎮座しているという洞穴遺跡。パワースポットとして注目されています。「祝子川(ほうりがわ)温泉 美人の湯」から神さん山入口まで徒歩10分。



▲標高831mの「雄岳」と「雌岳」が連なる山容で岩肌が露出している勇壮な姿が神秘的です。

延岡観光のお問合せ

■ 一般社団法人 延岡観光協会 ☎ 0982-29-2155



日向岬



▲ 遊歩道から見下ろすことができる、馬ヶ背の柱状節理が織りなす断崖絶壁

海と空と大地が交わるような、美しい自然の造形美が見られる日向岬。日向随一の絶景ポイントとして知られています。柱状節理の断崖が青い海原にそそり立つ馬ヶ背は、岬の先端に位置し全景が馬の背に似ていることからそう名づけられたと言われています。目の前に広がる大パノラマからは、地球そのものの壮大さを体感することができます。この一帯に広がる柱状節理は、日向岬の柱状節理として国の天然記念物に指定されています。



❖ 幸福神社 ❖

1776年正月に京都伏見の正一位稲荷五社大明神の分霊をお祀りし、富高陣屋(幕府天領を統括した役所)の鎮守稲荷として勧請され、明治元年に町内の天神社その他の社を合祀して幸福神社になりました。御祭神の宇迦之御魂神(お稲荷さん)は食物の神であり、農耕の神であるから「幸」とし、大国主命は福の神であることから、この名が付けられたと伝えられています。



▲夫婦楠
一本の樹から枝分かれしたものが隣の楠に入り込むように一体化した珍しい合体樹は、強い絆のご利益があるといわれ、縁結びの信仰を集めています。

強い絆の
縁結びとして
信仰される



☎ 0982-52-2111 (日向市観光交流課) 日向市本町10-20

御
朱
印
めぐり

❖ 大御神社 ❖



大御神社は、天照大御神をご祭神とする古社で、絶景の大海原を見渡す柱状岩の上に建立されています。

社記やその他の古文書によれば、ニニギノミコトが降臨されこの地を通過された際、千疊敷の磐石より絶景の大海原を眺望され、皇祖天照大御神を奉祀して平安を祈念されたと記されています。後世、この霊石がある所に社を建て、皇大御神を勧請して村中の鎮守として崇敬したとされています。

「日向のお伊勢さま」
として親しまれる古社



▲ 平成11年10月14日に本殿・幣殿・拝殿が国の有形文化財に指定されています。

◀さざれ石
境内西側奥には、さざれ石の巨石「神座(カミクラ)」が鎮座しています。

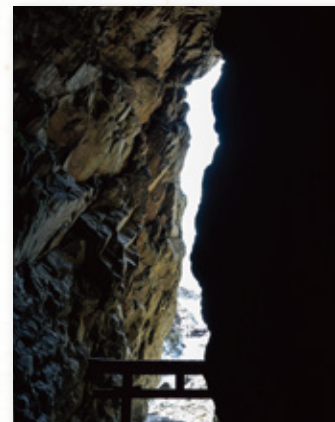
◀龍玉
壁面には渦巻状の線が浮かび、その中心に丸い石が鎮座していることから龍神の魂(玉)と言われています



❖ 鵜戸神社 ❖



☎ 0982-52-3406 宮崎県日向市日知屋1 (大御神社)



▲龍宮
岩窟奥に鎮座するお社の前に立ち、海の方角をみると白い昇り龍がみられ、龍神伝説の痕跡ではないかと考えられています。

海の波岸にできた洞窟の奥深くにお社が鎮座する神秘的な神社です。五柱を御祭神として奉祀し、奉仕の年代は詳らかではないが、古くより「鵜戸さま、鵜戸さま」と御威徳を慕われ、安産、航海安全、交通安全、厄難消除、事業繁栄の靈験あらたかな神様として知られるようになり、その形貌をひと目見ようと多くの参拝者が各地から足を運んでいます。



千古の神秘を湛える
洞窟に鎮座する





▲国指定の名勝庭園
池や中島、築山や工作物を巧みに利用して仏教の世界を表現しているといわれています。

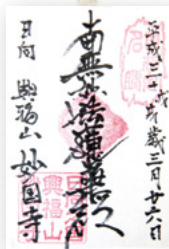
「厄除け寺」として
参拝者が多く集う



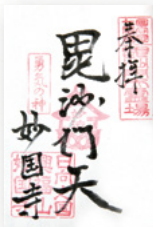
☎ 0982-52-2486 🏠 日向市細島373

❖ 興福山 妙国寺 ❖

1342年に開山され、約680年の歴史を持つ日蓮宗の古刹です。海原を見下ろす山の上にあるためか、五穀豊穡や大漁祈願などの信仰がすでに何千年も昔から行われてきた場所だと伝えられています。本堂内には御本尊のほか、鬼子母神、大黒天、毘沙門天、八大龍王が祀られ、一年を通して山内行持や祈祷法要が行われています。



▲日向之國七福神 毘沙門天靈場
毘沙門天は七福神の中でも唯一武装した神様で、勝利をもたらす軍神とされています。人の心に住む「あまのじゃく」や「餓鬼(人を羨む・ほしがる)」のような小鬼、つまり不幸の元を踏みつけて退治することから、福の神、また勇気の神とも言われています。



▲日向市細島みなと資料館
現在では珍しい木造3階建てでかつては旅館を営んでいました。

日向観光のお問合せ

■ 一般社団法人 日向市観光協会
☎ 0982-55-0235



Pick up! Spot

巨大な岩礁が東西200m、南北220mに渡って裂け、十字に見えることからこう呼ばれている。クルスとはポルトガル語で十字という意味。また横の岩場と十字架が合さり「叶」という文字になることから、ここで祈りを捧げると願いが叶う言い伝えられています。

御
朱
印
めぐり

オススメ
Pick up!

❖ 鉾島神社 ❖

神武東征の鉾が
祀られた場所



元は大隈正八幡の分霊を旧富高村日知屋字平野に勧請奉祀されていましたが、1527年に伊東祐国が日知屋岡山の合戦に敗れたため、現在の鎮座地細島に移し奉り、旧称八幡神社と称されていました。境内には伊東氏の墓所があり、今なお丁寧に祀られています。大正10年に細島にあった三社を鉾島神社として合祀されました。末社に「御鉾神社」があり神武天皇が船出され現在の細島へ寄られた際に現れた大鯨を突いた鉾を、漁のお守りとして島に突き刺し、その鉾が祀られたのが始まりと伝えられています。



▲漁の祈願のため、境内の石柱には船名や名前が柱に刻まれています。



▲港を一望し、細島港を見守る鉾島神社では毎年大漁祈願や厄祓いの祈願が行われています。



☎ 0982-53-1951 🏠 日向市細島353

大御神社で神秘的アート体験!

乾くと細かな立体感のある模様が浮かび上がるエコで不思議な「ディンプルアート・カラー」を使ったアート体験。スタンドグラスのような風合いのオリジナル作品を手軽に作ることができます。

お問合せ 一般社団法人日向市観光協会 ☎ 0982-55-0235

場所 伊勢ヶ浜前まち観光案内所へさん家(大御神社駐車場)

料金 1,000円~2,000円(作品の大きさによって体験料が変わります)

受入人数 1回につき5名程度(場所を変更して団体受入可能) / 体験時間 8:30~14:00(20分程度)

開催期間 通年 (火・水曜日、12/28~1/3除く) / 事前予約制(1週間前まで受付)



▲日向市駅から車で約30分。東郷町坪谷は、酒と旅を愛した歌人、若山牧水のふるさと。1845年に建てられた生家は当時の姿に近い状態で今もひっそり佇んでいます。

日向市東郷町坪谷3 ☎ 0982-68-9511(若山牧水記念文学館)



▲日向市駅の改札口の正面にある物産館で日向・入郷地区の特産品など人気のお土産が並んでいます。近くには日向市観光協会もあり、観光情報も手に入ります。

日向市上町1-19 ☎ 0982-54-4228



SPIRITUAL
HIMUKA

スピリチュアルひむか観光協議会



日向神話の伝承地である「高千穂町」「延岡市」「日向市」の関係機関が、この伝承を観光に活かそうと設立した協議会です。

この協議会では日向神話に秘められた魅力を楽しく、わかりやすくお伝えするとともに、各地域の体験やグルメ等のPR活動に取り組んでいます。

この冊子のお問合せ

ホームページ
より
情報発信中！

一般社団法人
高千穂町観光協会

高千穂町大字三田井809-1

0982-73-1213

<http://takachiho-kanko.info>



一般社団法人
延岡観光協会

延岡市幸町2丁目125 ココレッタ延岡 2F

0982-29-2155

<https://nobekan.jp>



一般社団法人
日向市観光協会

日向市原町1-2-1-101

0982-55-0235

<http://www.hyuga.or.jp>

